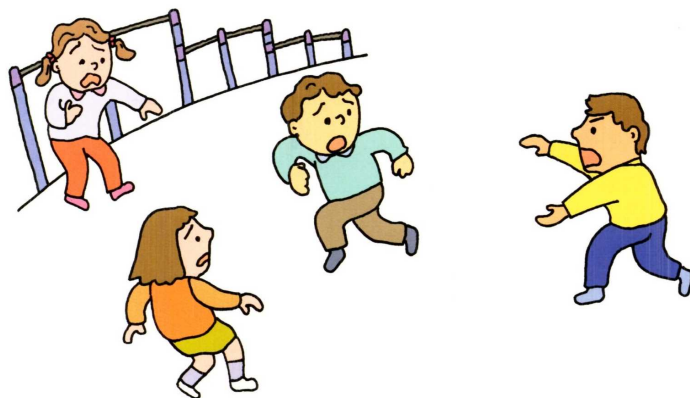


おにごっこ①

）

おにごっこは、（
みんなのできる あそびです。おにごっこ
には さまざまな あそび方が あります。
（
）あそび方が あるのでし
う。（
）、そのような あそび方を す
るでしょう。

★どんな おにごっこが ありますか。



おにごっこ②

（

あそび方の 一つに、（「

」など、にげては いけな

いところを きめるものが あります。にげ

る人が、（ ）行くことが できたら、

おには、つかまえるのが（ ）です。

（ ）が、ずっと、おにをすること

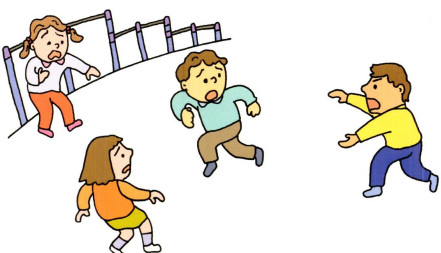
になるかも しれません。

（ ）ところをきめることで、

おには、にげる人を （ ）

なります。

★どんな あそび方ですか。



★なぜ そのように あそぶのですか。

おにごっこ③

また、「じめんに かいた 丸の中にいれば、つかまらない。」「木に さわっていれば、つかまらない。」のように、（

）ところを作ったり、（

）あそび方も あります。おにに

なった人の 足が（

）、にげる人

は みんな、すぐに（

）しまい

ます。このように（

）ことで、か

んたんには つかまらないように なります。

そして、（

）人も、走るのが

（ ）人も、すぐにはつかまらずに、

あそぶことが できます。



★どんなあそび方ですか。

★なぜそのようにあそぶのですか。

おにごっこ④

ほかに、「おにが 交代せずに、つかまった
人が、（ ）。」

という あそび方も あります。この あそ
び方だと、おにの 数が ふえていくので、
おには、にげる人を（ ）

なります。また、にげる人は、おにがひとり
の ときより、にげるとことを（ ）

したり、（ ）走ったり、しなけ
れば なりません。「つかまりそうだ。」と、

（ ）すること ふえて、
おにごっこが もっと （ ）
なります。



★どんな あそび方がですか。

★なぜ そのように あそぶのですか。

おにごっこ⑤)

ところが、この あそび方では、ときどき
して 楽しいけれど、おにごっこが（

）しまいます。そこで、おにが
ふえても、にげる人を（

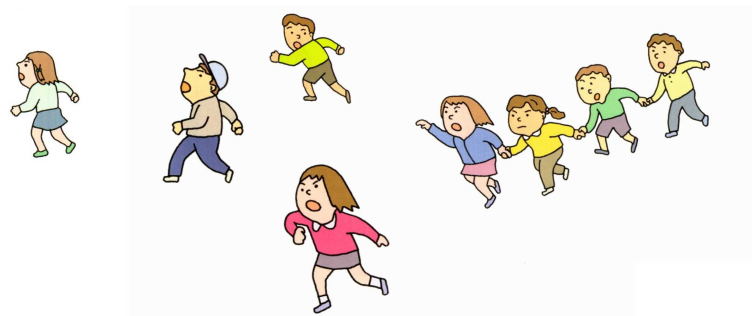
することが あります。「おにに なった人は、
みんな、（）を つないで おいかけろ。」

ときめるのです。おにが 三人、四人と
ふえてくると、手を つなぎながらおいかけ
るのは、（）です。でも、この

あそび方だと、手を つないだ おにには、

（）という 楽

しさが くわわります。また、にげる人は、
おにが ふえるに つれて、つかまり にく
くなります。（）を つけ足す
だけで、おにごっこが （）おわら
ずに、長く あそび つづけることが でき
ます。



★なぜ そのように あそぶの。

★どんな あそび方が あるの。

おにごっこ⑥(

このように、おにごっこは、さまざまにあそび方が あります。

（ ）人も、（ ）人も、
みんなが 楽しめるように、くふうされて
きたのです。あそぶ ところや なかまの
ことを 考えて （ ）を 作れば、
自分たちに 合った おにごっこに するこ
とも できます。そのときには、みんなで

() を きめて、 それを

() ように します。

あそび おわった ときに、だれもが
「」 と思えるような

おにごっこができるといいですね。

